

世代間交流フェスタ

三陸めぐり逢いラジオ in 久慈

18日は、久慈市総合福祉センターから生中継。菊池幸見、甲斐谷望両アナウンサーがおじゃましました。交流ステージでは、中川愛子社中の民謡、地元のナニヤラ保存会の皆さんの郷土芸能が披露され、たくさんの人たちが交流イベントを楽しみました。



大船渡発

大船渡線BRT仮復旧工事始まる

震災のため今も一部区間で運休となっているJR大船渡線で仮復旧に向けた工事が始まりました。JR東日本では来年春にもバス高速輸送システム＝BRTでの仮復旧を完了させる予定です。仮復旧に向けての工事が始まったのは、被災した大船渡駅から盛駅手前までの約1.9キロの区間です。この区間は被災したJR大船渡線がBRT＝バス高速輸送システムで仮復旧にされるのに伴いバスの専用道路となります。19日は津波で流されなかった区間内にあるレール約700mの取り外し作業が行なわれました。レールの撤去は1ヶ月程で完了しこの区間では春には舗装工事も終了します。JR東日本では現在も沿線自治体と運行ルートについて話し合いを進めていますが、来年春には、大船渡線を仮復旧させるためBRTが運行します。

(11/19 ニュースエコー)



宮古発

「英語」による津波の紙芝居



宮古市田老地区の津波の歴史を広く外国の人たちにも知ってもらおうと田老第一中学校の生徒たちが留学生を招いて「英語」による津波の紙芝居を披露しました。この取り組みは岩手大学教育学部の協力で企画されたもので、アメリカ・ロシアを始めとする7人の留学生が学校を訪れました。紙芝居は、昭和8年の三陸大津波を題材にした田老出身の女性、田畑ヨシさんの紙芝居を英語に訳したものです。慣れない英語に懸命に取り組んできた生徒たちは、ふるさとの津波の歴史を世界に伝えたいという思いを、紙芝居に託しました。英語の津波紙芝居は今後、修学旅行先などでも披露され、防災教育につなげていくということです。(11/20 ニュースエコーより)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ

(毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～)

今週(21日)は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、陸前高田市米崎町・脇之沢漁港にあるカキむき場からレポートしてくれました。広田湾漁協・米崎小友支所 米崎カキ養殖組合の熊谷政之代表にお話を伺いましたが、震災で残ったわずかの種ガキを育て、2年ぶりの出荷となったそうです。もともと品質の良さから高値で取引される広田湾のカキ。今年は数も少なく、実入りもまだ以前ほどではないという事ですが、それでも久しぶりに出荷できる喜びにこれまでの苦勞も忘れる事ができますと話していました。



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122